

整備基準適合表（公園等）

年 月 日作成

施設の名称		主要用途	
施設の所在地			
記入者の氏名		電話番号	

（注）太枠の中を記入してください

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
1 出入口 (1以上)	(1) 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ	仕上材	適・否
	(2) 幅は内法 120 センチメートル以上	内法幅 センチメートル	適・否
	(3) 車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない。やむをえず、段を設ける場合は、下記の構造にするとともに、(4)に定める構造の傾斜路及び踊場を設置 イ 手すりの設置 ロ 回り段を設けない ハ 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ ニ 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造 ホ 上端に近接する通路等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	段差の有無 有・無 最大段差 センチメートル 手すりの有無 有・無 回り段の有無 有・無 仕上材 色の区分 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	適・否
	(4) 傾斜路及び踊場の構造 イ 幅は、内法 120 センチメートル以上 ロ 勾配は、8.5 パーセント以下 ハ 勾配が 3 パーセント以上の場合、区間 50 メートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場を設置 ニ 手すりの設置 ホ 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ ヘ 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する通路等と識別しやすいもの ト 傾斜路上端に近接する通路等及び踊場に注意喚起用ブロックを敷設	内法幅 センチメートル 勾配 パーセント 高さ センチメートルごと 踊場の幅 センチメートル 手すりの有無 有・無 仕上材 色の区分 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	適・否
	(5) 車止めのさくを設ける場合、車いす使用者の通行に支障のない構造	車止め柵の間隔 センチメートル	適・否
2 園路 (1に定める出入口に通ずる主たる園路)	(1) 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げとし、かつ平坦	仕上材	適・否
	(2) 幅は 120 センチメートル以上	幅 センチメートル	適・否
	(3) 勾配は 4 パーセント（やむをえない場合は 8.5 パーセント以下）	縦断勾配 パーセント	適・否
	(4) 勾配が 3 パーセント以上の場合、区間 50 メートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場を設置	高さ センチメートルごと 踊場の幅 センチメートル	適・否
	(5) 排水溝を設ける場合は、車いす使用者の通行に支障のない構造の溝ぶたを設置		適・否
	(6) 段を設ける場合は、下記の構造にするとともに、(7)に定める構造の傾斜路及び踊場を設置 イ 手すりの設置 ロ 回り段を設けない	段の有無 有・無 最大段差 センチメートル 手すりの有無 有・無 回り段の有無 有・無	適・否

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
	ハ 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ ニ 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造 ホ 上端に近接する園路等及び踊場に注意喚起用ブロックの敷設	仕上材 色の区分 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	適・否
	(7) 傾斜路及び踊場の構造 イ 幅は、内法 120 センチメートル以上 ロ 勾配は、8.5 パーセント以下 ハ 勾配が 3 パーセント以上の場合、区間 50 メートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場の設置 ニ 手すりの設置 ホ 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ ヘ 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する園路等と識別しやすいもの ト 上端に近接する園路等及び踊場に注意喚起用ブロックの敷設	内法幅 勾配 高さ 踊場の幅 センチメートル パーセント センチメートルごと センチメートル 手すりの有無 仕上材 色の区分 有・無 有・無 (平面図に敷設位置を記入)	適・否
	(8) 誘導用ブロックを適切に敷設	(平面図に敷設位置を記入)	適・否
3 便所	(1) 下記構造の車いす使用者用便所を 1 以上設置（男女の区分がある場合は、それぞれ 1 以上） イ 十分な床面積を確保し、かつ、腰掛便座、手すり等を適切に配置 ロ 車いす使用者用便所の出入口の幅は内法 80 センチメートル以上 ハ 車いす使用者用便所の出入口の戸は、車いす使用者が円滑に開閉し通過できる構造	車いす使用者用便所 か所 内法幅 センチメートル 開閉方式	適・否
	(2) 手すり付きの床置き小便器を 1 以上設置	設置数 か所	適・否
4 駐車場	(1) 下記構造の車いす使用者用駐車施設を設置 イ 駐車場に通ずる出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設置 ロ 幅は 350 センチメートル以上 ハ 車いす使用者用駐車施設である旨の表示	全駐車台数 車いす使用者用 (平面図に位置及び経路を記入) 幅 表示の方法 台分 台分 センチメートル	適・否
	(2) 出入口から車いす使用者用駐車施設までの通路は下記の構造 イ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ ロ 融雪装置の設置（他の方法により除雪、排雪又は融雪の措置を講ずる場合はこの限りではない。） ハ 通路に段を設ける場合は下記の構造 (イ) 手すりの設置 (ロ) 回り段を設けない (ハ) 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ (ニ) 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造 ニ 幅は 120 センチメートル以上 ホ 高低差がある場合は、下記構造の傾斜路及び踊場又は車いす使用者用特殊構造昇降機を設置 (イ) 幅は内法 120 センチメートル以上（段併設の場合は 90 センチメートル以上） (ロ) 勾配は 12 分の 1 以下（傾斜路の高さ 16 センチメートル以下は 8 分の 1 以下）	仕上材 融雪装置の有無 有・無 段の有無 手すりの有無 回り段の有無 有・無 有・無 有・無 仕上材 色の区分 有・無 幅 高低差の有無 段差解消の種別 センチメートル 有・無 内法幅 勾配 センチメートル	適・否

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
	(A) 高さ 75 センチメートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場の設置 (ニ) 手すりの設置 (ホ) 粗面又は滑りにくい材料の路面仕上げ (ハ) 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する通路等と識別しやすいもの	高さ センチメートルごと 踊場の踏幅 センチメートル 手すりの有無 有・無 仕上材 色の区分 有・無	
5 案内表示及び非常警報装置	(1) 案内表示を設置する場合は、高齢者や障害者が円滑に利用できるよう設置場所及び表示方法などを配慮		適・否
	(2) 非常警報装置を設置する場合は、光、音その他の方法により、視覚障害者及び聴覚障害者に非常事態を知らせることができる警報装置の設置		適・否
6 ベンチ	(1) 適切な位置に設置	(平面図に位置を記入)	適・否
7 付帯設備	(1) 野外卓、水飲み器、自動販売機、公衆電話設備、券売機その他の設備を設ける場合は、高齢者、障害者等が円滑に利用できる構造		適・否